



子ども食堂支援

JAグループ北海道、北海道教育庁、北海道教育大学、北海道コンサドーレ札幌の4者で意見交換した際、「こども」をテーマとした活動で何ができるのかを話し合い、行き場のない子供達のための「居場所」と「学びの場」として増加している「子ども食堂」の運営主体をサポートする取り組みを実施することにした。それぞれ得意分野があり、食育はJAグループ北海道、徳育は北海道教育委員会、知育は北海道教育大学、体育は北海道コンサドーレ札幌が担当し、子供の健全な成長と住み良い地域社会の創造に貢献する活動を展開する。

活動場所 : 子ども食堂もくきち、札幌市立信濃小学校

取組テーマ : 地域のコミュニティ

協働者 : 企業／学校／行政

協働者名 : JAグループ北海道、北海道教育庁、北海道教育大学

活動で工夫した点

食育を担当するJAグループ北海道は食育講座やかかし作り体験、食材の提供、徳育を担当する北海道教育庁は図書の貸出しや読み聞かせ（大型絵本、エプロンシアター、紙芝居等）、知育を担当する北海道教育大学は学生による宿題等の学習支援、体育を担当する北海道コンサドーレ札幌はサッカー教室やバドミントン教室を開催し、それぞれの強みを生かした活動を毎月行っている。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

北海道内に100を超える子ども食堂があり、支援することも食堂の選定に難しさを感じた。4者が支援できる内容を基に、北海道子ども食堂ネットワークが選定した数か所を視察し、最終的に札幌市厚別区にある子ども食堂「もくきち」に決まった。

クラブや地域の活動後の変化

子ども食堂を利用する子供達が増えた。（ご飯を食べずに遊びに来る子供達も含めて）共働き世帯や貧困世帯の子供達がご飯を食べるだけの場所ではなく、地域のコミュニティの場となっている。



協働者の声

この4者で一緒に取り組むことができて良かった。子供達の笑顔や楽しそうな姿は勿論のこと、地域ボランティアの方々からもたくさんのお礼の言葉をいただいた。これからも続けていきたい。

参加者の声

一緒にサッカーや宿題ができて楽しかった！優しいお兄さんやお姉さんと遊ぶことができて嬉しかった。毎回遊びに来てね。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

4者がそれぞれ持っている想いと強みを生かすことによって、子供達の学力や体力の向上、食に関する理解、健全な育成について同時に取り組むことができる。

補足

4者で子ども食堂支援に関するモデルケースを作り、最終的には北海道内のそれぞれの地域で子ども食堂を支援できる仕組みを作る予定。